

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 南畑ダム貯水する会								
2 事業名称	よい水循環、総合治水、よい川の社会啓発事業								
3 支援金額	400,000円								
4 実施日時	7月水害フォーラム:7月17日 雨水啓発のためのシンポジウム:12月6日								
5 実施場所	① 福岡市役所本庁舎15階講堂 ② 九州大学西新プラザ 福岡市早良区西新2丁目16番								
6 事業目的、内容及びその効果	<p>(1) 事業の目的 水害を教訓とし、都市水害対策としての総合治水、市民防災、危機管理について啓発し、意識を共有すること。地域の水循環と人間とのかかわりを見つめなおし、水循環と私たちの暮らしについて意見を交わしあい、問題意識や希望をみんなで共有すること。</p> <p>(2) 事業の内容 ①7月水害フォーラム:ーゲリラ豪雨(局地的大雨)にそなえてー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演 神戸市都賀川の河川水難事故とその後の対策 ・ 行政, 研究機関からの報告 ・ 参加者による市民トーク <p style="padding-left: 40px;">「みんなで語ろう」ーゲリラ豪雨(局地的大雨)にそなえてー</p> <p>②シンポジウム第6回「雨から川へ、水のつどい」</p> <p style="padding-left: 40px;">ー樋井川をモデルに、みんなで水のつながりを考えるー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イントロダクション ; ひい川ふるさと見分け ・ 基調講演 ;和泉川ではできた。樋井川でもできる ・ ディスカッション; 樋井川流域でどのように雨を貯め、いい川となるか? 大きな白地図を広げて、みんなで描き出そう <p>(事業実施効果)</p> <p>① 7月水害フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸の災害を起こした水は、山の鉄砲水ではなく、都市部(住宅域)に降ったゲリラ豪雨が瞬時に川を襲ったこと ・ 降雨が瞬時に河川に集中する現在の水環境についての問題 ・ 「雨水をスグ流さない、貯める」ことの大切さ <p>②シンポジウム第6回「雨から川へ、水のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いい川づくりと治水対策は相反するものではないということ ・ 水害の被害を受ける下流のために上流が雨水流出を抑制するという、上下流の協力が必要なこと <p style="text-align: right;">ということを共有した。</p>								
7 参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">330名</td> </tr> <tr> <td>(1)主催者参加</td> <td style="text-align: right;">30名</td> </tr> <tr> <td>(2)日本人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">300名</td> </tr> <tr> <td>(3)外国人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">名</td> </tr> </table>	総人数	330名	(1)主催者参加	30名	(2)日本人参加((1)を除く)	300名	(3)外国人参加((1)を除く)	名
総人数	330名								
(1)主催者参加	30名								
(2)日本人参加((1)を除く)	300名								
(3)外国人参加((1)を除く)	名								
8 今後の方針	雨水流出抑制と多自然川づくり、市民の防災への参加と、流域の緑と潤いのある自然再生を実現するために、市民・NPO・行政・企業などみんなが参加・連携をして、わが国初となる、全住民参加型の総合治水の実践へとむかう。								

7月フォーラム基調講演



7月フォーラム 報告



7月フォーラム 報告



7月フォーラム ディスカッション



12月シンポジウム 報告



12月シンポジウム 報告

